

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。一般の方もご参加いただけます。

2019年

2月19日(火) 18:00～

青山学院大学名誉教授

浅井 和春氏

『中尊寺金色堂の美術』

間もなく2011年3月11日の東日本大震災から9年目を迎えるが、その年の6月、「平泉 仏国土(浄土)を表す建築、庭園及び考古学的遺跡群」は世界遺産に登録された。それは、多くの人びとの尊い命や生活を奪った震災からの復興への口火であり、鎮魂の祈りを込めた世界からの気持ちの表れでもあった。その世界遺産平泉の中心を形づくるのは、多くの仏像や経典、工芸品等を遺す中尊寺と浄土式庭園で著名な毛越寺である。そして、柳之御所遺跡や無量光院、観自在王院などの主要遺跡が確認されたとはいえ中尊寺の存在、それも同寺金色堂の存在無くしては世界遺産登録もかなわなかったであろう。

今回のスペシャルトークでは、初代清衡に始まり二代基衡、三代秀衡と続く約90年間におよぶ奥州藤原文化の美術の粋ともいえる国宝金色堂の仏像・工芸の魅力を紹介し、併せてその文化の意義を解説する。

浅井 和春(あさい かずはる)

【略歴】

1949年8月、宮城県生まれ
1976年3月、東京芸術大学大学院修士課程修了
同大学非常勤助手、東京造形大学非常勤講師等をへて
1979年4月、東京国立博物館学芸部勤務
同博物館法隆寺宝物室長をへて
1994年4月、青山学院大学文学部教授(～2018年3月)
現在、青山学院大学名誉教授

【主な著作】

- 『天平の彫刻』(『日本の美術』456) 至文堂
- 『中尊寺と平泉をめぐる』(菅野成寛編) 小学館
- 『不空羂索観音・准胝観音像』(『日本の美術』382) 至文堂
- 『もういちど訪ねる 日本の美』上・下(小林忠ほか共同監修) 山川出版社 ほか



申込方法

事務局まで直接お問い合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日10:00～18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL 03-3569-1250 FAX 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp http://ja2pa.or.jp



J A 2 P A

一般社団法人 日本アート評価保存協会